

【第2回検討会議での主なご意見】

【来街者】

- 光が丘地域でのイベントでは、最近、区外からの来街者も増えている。
- 桜の花見シーズンは、土日で8～10万人が訪れる。地元が2割、他地域が8割である。よさこい祭りは3日で30万人集まった。
- 車で訪れる人は、光が丘公園の専用駐車場等があるので、駐車に困らない。

【施設利用】

- 学校用途以外には、避難拠点、備蓄倉庫やスポーツ利用、選挙の投票所等として活用されている。
- 体育館、校庭については、どこの学校も土日は大いに利用されている。
- 教室・調理室等は、学校運営上(セキュリティ等)、一般開放にあたっての制約もあるため、区民センター、旭町南地区区民館、光が丘地区区民館の3施設の利用率が高まっている。
- コミュニティやサークル活動を考えると、区の施設予約は倍率が高い。
- サークルやコミュニティ活動に携わっている人はオフィスを持たず、実行委員長の自宅がオフィスである。
- 光が丘の施設は、光が丘地域以外の区民もたくさん利用している。
- 光が丘の中で、サークル活動をしている人達の活動の場が十分確保できているのか。
- 子供が減っているため、グラウンドを使うスポーツチーム等のニーズは減っていくのではないか。

【視点】

- まち全体の高齢化の進行を少しでも抑制できるような活用方法がポイントである。
- 20～40歳の人口推計はそれほど変動が無く、安定している。ここで子供をもうけることへの支援をすれば子供の数も増える。
- 人口構成では、団塊の世代が突出している。これらの人達の体力や知見を使わない手は無い。
- これまで学校を使っていた地域の人達のことを考慮する必要がある。
- 全区的な利用を考慮すべきである。
- 若者を呼び集めるという視点において、どのような活用があるか検討する必要がある。
- 高齢者、障害者という視点、団塊の世代の視点が必要である。

【活用用途】

- 多くの区民が平等に利用できるようにすべきである。
- コミュニティ施設の整備は急務である。
- 学校側では、教育課題を研究する場、職場の研修の場が無い。不登校児童も増えており、それら児童が勉強する場も不足している。
- 学校の形状を活かすということでは、それにふさわしい使い方がある。一つの建物を地域住民全員が、複合的に利用できるが良い。
- 若い方が地域に住んでもらえるような施設にして欲しい(子育て支援や病院等)。
- 若者のための施設(IT、音響、アニメ等)が必要であり、区の産業振興にもつながる。
- 団塊の世代の中には、地域との繋がりが薄い人もいるため、生涯学習施設等として使える施設も必要である。
- 子供と高齢者を結びつける策もある。
- 病床数の確保が必要である。日大光が丘病院も今後老朽化が進めば、建替えも考慮する必要がある。ただし、今すぐではなく10年くらいのスパンである。
- 8校の校歌や校長の写真等を、学校のコーナーを設けて展示し、自分達の学校を感じられることができるスペースが欲しい。
- 日・祭日に限っては、校庭も駐車場として活用できるのではないか。車利用者を想定した利用方法も検討する必要がある。

【課題】

- 練馬区としてどんな施設が必要で、跡施設活用とリンクできるものがあるだろうか。
- 4校を視察して、相当工事しなければいけないと感じた。建替えたほうが費用対効果は良いのではないか。
- コストを下げて人気の無い施設を作るのか、制度面やコスト面の課題が大きくても使われる施設を作るのか。
- 用途変更は絶対に必要になる。場合によっては、一部解体や建替えもある。
- 地権者が細分化されている状況から、現在の法制度の中でできる形でやっていくべきではないか。

【留意事項】

- 卒業生も多くいるので、学校のシンボリックなものを残して欲しい。

【要点の整理】

◆若い世代が暮らしやすい地域をつくり、まち全体の高齢化の進行を抑制していくことが必要。そのためには、若者が活躍できる場や安心して子育てができる場を整えることが必要。

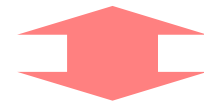
◆地域には団塊世代が突出して多い。これら団塊世代が地域参加できる場、知恵・体験を活かせる場が必要。

◇地域のみならず、全区的にコミュニティやサークル活動の場が不足。活動拠点、気軽に借りられるスペースの確保が必要。

◇医療分野において、これまで課題であった病床の確保を考えることが必要。

◇教育の課題研究、教職員研修、及び不登校児童生徒支援の場等が不足している等、教育現場を総合的に支援する施設が必要。

◆各学校の卒業生は多い。学校が統廃合されても、自分の学校を感じられる(記憶を辿れる)スペースを確保して欲しい。



活用にあたっては、都市計画法等の規制を前提とし、改修コストと区民ニーズ、施設の更新時期を踏まえて考えることも必要。

- ◆: 地域的な視点を踏まえた要点。
- ◇: 全区的な視点を踏まえた要点。

※この資料は、各委員からの主な意見等を事務局で要点整理したものです。